3andC『計算3目並べ』アドバンス

小さな子供でも簡単に覚えられる3目ゲームに算数足し算の要素を入れて、楽しく遊べる 脳のトレーニングゲームです。基本は3目並べですが引き分けの場合は合計点で争います。 同点が起こりますが、同点の場合は青タイルに、より多くの駒が載っている方が勝ちです。 引き分けはありません。

アドバンスタイプは低学年向けの1、2、3の最小単位の数字計算で遊べるベーシックタイプを改良し、青色タイル1、2、3の裏面には7、8、9を、白タイル1、2、3の裏面には4、5、6をプリンとし高学年(大人)でも十分遊べる難易度の高い計算ゲームになっています。

【持ち駒】

先手が4つ(緑ガラス) 後手が5つ(透明ガラス)の駒を持ちます。

【プレーの仕方】

ボードの9枚のタイルを適当に並べ替えます。

先手後手の順番を決めて、1手づつ順番に盤面に駒を置きます。 8手目と9手目は後手が連続して駒を置きます。これで先手後手 の獲得点数の期待値を同じにして公平にしています。

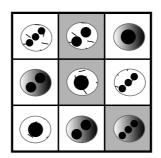
【勝 敗】

縦横斜めどの方向でも直線上に3目並べた人が勝ち、

3目並ばない場合のみ駒を置いたタイルに描かれたドットの合計点が多い方が勝ちです。ドットの合計点も同じ場合は3枚の色タイルに、より多く駒が載っている方が勝ちとなります。(色タイルのドットの数ではありません。)

【より難易度の高い遊び方】

数の組み合わせをランダムにすることによって、より複雑な計算となります。青タイルは必ず3枚になりますので、タイルの合計が偶数の時はブルータイルの上に2個以上載っている方が勝ち。奇数の時は単純に合計数の多い方が勝ちとなります。



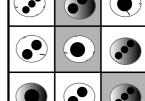
3目並んでいないが合計点数が 10対8なので透明駒の勝ち

表面



裏面





(勝敗例)

点数は9対9だが青タイルに青駒が2つ載っているので青駒の勝ち

プレー人数: 2人 時間: 1分~3分 年令: 6才+

*注意:駒などの小さなタイルは 子供が飲み込む恐れがあります。 手の届かない場所に保管しプレー をしてください。



www.logygames.com

発売元 株式会社ギフトボックス 198-0102東京都西多摩郡奥多摩町川井558-1

E-mail: moonwalker@logygames.com tel:0428-85-2070 fax:0428-85-2071